

学校法人藤森学園
大宮理容美容専門学校

2024年度
第1回学校関係者評価委員会

報 告 書

2024年9月27日

大宮理容美容専門学校

2024年度 第1回 学校関係者評価委員会報告

学校関係者評価委員会

標記委員会を下記のとおり開催し、学校関係者評価を実施しましたので、報告いたします。

記

1. 開催日時 2024年9月20日（金）13時30分～14時30分

2. 場 所 大宮理容美容専門学校 会議室
(埼玉県さいたま市大宮区桜木町四丁目92番地)

3. 出席委員（4名）

堀口秀暁（学校運営に関する専門家）

大宮理容美容専門学校 元校長

田中康之（理容分野の企業職員）

理容室（ヘアーサロン シロー）代表

吉野綾佑（美容分野の企業職員）

美容室 k+PLUS スタイリスト

杉本大祐（卒業生）

銀座バーバー東村山店 店長

4. 出席教職員（1名）

藤森英和（校長）

藤森康至（副校長）

5. 会次第

（1）開会

校長から委員会開催の挨拶があった。

（2）委員長選出

委員の満場一致で、堀口秀暁が委員長に選任された。

（3）議事（進行：委員長）

① 2023年度事業報告について

② 2023年度自己評価結果について

③学校運営に関する提案について

6. 議事内容

(1) 2023年度事業報告について

副校長が2023年度事業報告書を使って、法人の概要及び事業の概要について説明をした。

その後、質疑応答が移り、次のような委員からの質問と、校長と副校長からの回答があった。

- ① 美容科の退学者が一昨年度に続いて多いと思うが、何か対策は講じているのか。

→退学率についてはやや減少したが、10%に近い数字で残念な結果となってしまった。退学理由の多くは美容の学修意欲がなくなってしまったことである。以前はそういった学生も学業を続ける方向で何とか学校を続ける方向で指導していたが、学習意欲のない学生がクラス内にいることで他の学生に悪影響を及ぼすことが多かったので、無理に引き止めない方向に指導方針を変えたことが大きいと考えている。

入学前の段階で、オープンキャンパス等を通じて理美容の学修の厳しさを伝え、ミスマッチが少なくなるように努力している。

- ② 理容科の入学生数は相変わらず厳しい状況だが、定員を減らした方が良いのではないか。

→理容養成施設の規定で通信の定員は昼間の定員を超えてはいけないので、通信の学生確保のため、30名の定員を減らすことは難しい。

(2) 2023年度自己評価結果について

副校長から説明があり、その後、審議に移ったが各委員から次のような意見が出された。

- ① 教育理念、教育目標については妥当だと思われる。
- ② 本年度の目標、計画についても概ね妥当だと思われる。
- ③ 自己評価項目の設定については、標準的なもので現状では妥当だと思われる。
- ④ 自己評価結果は概ね妥当で、学校の実態を反映した評価だと思われる。
- ⑤ 教職員に対して自己評価の重要性を丁寧に説明し、より良い自己評価を行ってほしい。

(3) 学校運営に関する提案について

各委員からつぎのような提案があった。

- ① 昨年度の引き続きになるが、同じ理美容分野の他校の様子も見ながら、学校としてやるべきこととやらなくても良いことをしっかり見極めて学校経営をしてほしい。
- ② 学納金の額については、他校の動向も調査した上で更なる教育の充実のために値上げも検討した方がよい。
- ③ 教育課程についてはより実践的な教育を行うために見直しを進めた方がよいと思う。

以 上